

勢和地区について

勢和地域について



多気町勢和地域



波多瀬、片野、朝柄、古江、色太、土屋
車川、上出江、下出江、丹生

10の集落からなる地域

農業土木と勢和地域

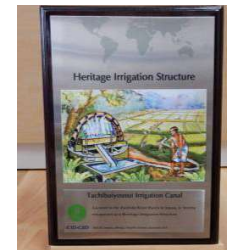
1823年竣工 **立梅用水（通水201年）**



幹線水路：28.0km
かんがい面積：約260ha
大正9年より水力発電（800kW/h）を開始



西村彦左衛門らの
努力により
延長：約30km
開田：約160ha



2014年に世界かんがい施設遺産登録

「岩一升、米一升」と苦勞して
開削された手掘りの隧道

100年を超える農業用水利用の
小水力発電の歴史



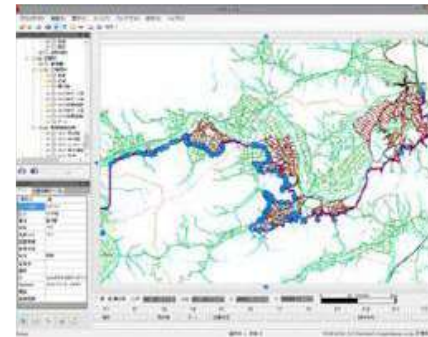
農業土木と勢和地域

1823年竣工 **立梅用水（通水201年）**



幹線水路：28.0km
かんがい面積：420ha
大正9年より水力発電（800kW/h）を開始

先進技術も積極的に導入



施設の維持管理をGIS上で管理（2014年～）
（農研機構農村工学部門と共同開発）



コムスによる水路管理・農村福祉事業（2016年～）

『あじさい』による地域活動（H5～）



昭和60年頃、農業近代化の中で農業が変容を遂げ、地域住民の関心が薄らぐことに危機感。地域の自然や生き物などの環境に再び目を向け守っていくことが地域の維持に必要。

➡ あじさいいっぱい運動開始

地域の多様な組織、教育機関を巻き込んだ『あじさいまつり』



手掘りの隧道を勢和中学校の生徒が案内『ボート下り』

“ためん”を使った維持活動



多面的機能支払交付金を使った地道な維持活動



～この活動は多面的機能支払交付金を活用しています～

第8回 大師の里 メダカ池をのぞいてみよう！

**8月1日は
水の日！** 令和6年8月1日（木）小雨決行
8時30分～11時30分（受付8時～）



環境啓発活動

